

神戸市従業員労働組合環境支部との交渉議事録

1. 日 時：令和4年10月19日（水）16：31～16：45
2. 場 所：テッケンビル8F 環境局研修会館
3. 出席者：
 - （市）施設担当部長、事業管理担当課長、業務課長、業務課担当係長（収集運搬）、業務課担当係長（職員担当）、他3名
 - （組合）市従環境支部副支部長、書記長、書記次長兼会計、書記次長、他3名
4. 議 題：年末年始特別作業団体交渉
5. 発言内容：
 - （組合）9月12日（月）に提案いただいた年末年始特別作業の実施については、我々としても、市民の方に気持ちよく新年を迎えていただくために非常に重要であると認識している。また、特別作業を行わない場合、年始のごみ量が多大となり、一部のクリーンセンターにおいては処理能力を超えてしまう恐れがあるため、特別作業の必要性についても十分に理解している。しかし、実施するにあたっては職員の健康管理、交通安全対策、作業事故防止対策といった安全性を確保することが重要であると考え、先日いただいた提案で把握ができなかった内容について確認させていただく。
 - （組合）それでは、収集部門について質問させていただく。年末年始特別作業期間中は平常時とは異なり、渋滞、降雪、路面凍結などの道路状況の影響により、計画通りに作業を行うことが困難となることが予測されるが、最終帰着時間の想定や安全対策について説明をお願いしたい。
 - （市）それでは、回答させていただく。去年は特に大きな渋滞の発生や積雪などトラブルもなく、31日には17時50分までに全市のごみ収集は終了している。今年31日の燃えるごみの滞留日数は昨年度より1日少なくなっており、予備車の活用を含め各事業所で工夫することで、昨年より早い帰着時間は可能と想定している。安全対策も含めたリスク管理については、局としても重要な業務であり、事前の対応も重要となる。降雪対策としては、「積雪時等非常時における作業手順」について改めて周知を図るとともに、例年同様スタッドレスタイヤの装着を行っていきたいと考えている。あわせて、作業用後部ライトの装備や点検整備など、作業上必要な安全対策を講じていきたいと考えている。なお、備車についても同様の対応をしていきたいと考えている。
 - （組合）昨年に引き続き警戒が必要な新型コロナウイルスの感染拡大、またインフルエンザの流行などが考えられますが、感染防止対策などについて説明をお願いしたい。
 - （市）ただいまの質問について、説明させていただく。インフルエンザの予防策としては、インフルエンザ予防接種助成の制度を周知し接種を促すほか、これまでも実施い

ただいているところであるが、新型コロナウイルス感染症への対策として、マスク、ハンドジェル等の支給、手洗いやうがいの励行、庁舎内におけるマスク着用の徹底、消毒の実施、庁舎内・車内の換気、「3密」の回避や新型コロナワクチン接種の推奨など、感染防止策の徹底を行っていきたいと考えている。また、新型コロナウイルス感染症の職員間での感染拡大を防ぎ、収集体制を維持するため、抗原検査キットを確保し、必要な場合に迅速に検査できるようにしている。

(組合) 昨年度の特別作業において、何かトラブルはあったか。また、予期せぬ事態が発生し収集業務が滞った場合の対応について説明をお願いしたい。

(市) ただいまの質問について、説明させていただく。昨年度については、特に大きなトラブルは発生していない。また、大きな渋滞が発生した場合には、搬入先を変更するなど弾力的な対応を行っていきたいと考えている。

(組合) 次に処理部門について質問させていただく。クリーンセンター、布施畑環境センター、資源リサイクルセンター、カセットボンベ・スプレー缶の中間処理施設について、受け入れ時間などの具体的な考え方について説明をお願いしたい。

(市) ただいまの質問について、説明させていただく。

クリーンセンターでの焼却処理については、今年度も昨年度に引き続き焼却を継続することとしている。また、直営の搬入受け入れについては、31日(土)まであることから、全車搬入が終了するまで受け入れる体制をとる計画としている。全体の焼却計画を基本にし、期間中の搬入量やピット残を見ながら、業者搬入調整ならびに中継の搬入を臨機に組み替え、年始の各クリーンセンターのピット残が、それぞれの規模に応じたものになるように調整し、全体として、より安全な処理計画を組んでいく。次に、中継施設である妙賀山クリーンセンター、落合クリーンセンター、荇藻島クリーンセンターでは、直営の搬入及び中継搬出が31日まであることから、31日の作業終了まで行なうこととしている。

(市) 布施畑環境センターの受入時間については、直営、大型ごみ、中継は、12月31日(土)の作業終了までを予定している。また、破碎選別業務は、12月31日(土)の作業終了までを予定している。尚、私人の受入時間については12月28日(水)までとし、年始は1月4日(水)から平常受付を予定している。次に、資源リサイクルセンターの受入時間については、直営、中継は、12月30日(金)の作業終了まで、31日(土)は12時までの予定としている。尚、私人の受入時間については12月28日(水)までとし、年始は1月4日(水)から平常受付の予定としている。

(市) カセットボンベ・スプレー缶の中間処理施設(大栄環境・藤定運輸)の受入時間については、12月29日(木)と30日(金)は作業終了まで、31日(土)は、8時から12時までの予定としている。なお、許可業者については、29日(木)と30日(金)は、時間を区切って8時から15時まで、31日(土)は、直営と同じ8時から12時までの予定としている。

- (組合) 炉の立ち下げ・立ち上げ時のトラブルなどのリスクを避ける観点から、昨年度の特別作業においては、立ち下げを行わず焼却を継続し業務を行ったが、何かトラブルはあったか。また、今年度についても立ち下げを行わない計画となっているが、年始の出務体制をどのように考えているのか説明をお願いしたい。
- (市) ただいまの質問について説明させていただく。特に立ち下げ・立ち上げを行わなかったことに対して、大きなトラブル等もなく、安定的な焼却業務を継続して実施することができた。焼却業務については、昨年同様、日中については、B 直班に加えて、所長または副所長から 1 名、総作業担当係長、作業担当係長、作業長の中から 1 名、行政職技術担当者 1 名、夜間については、C 直班の出務でお願いしたいと考えている。
- (組合) 事業系許可業者の搬入については、年末年始も受け入れを行う計画となっているが、受け入れの時間など具体的な考え方について説明をお願いしたい。
- (市) クリーンセンターにおける許可業者の年末年始の受入時間について説明する。12 月 29 日 (木) と 30 日 (金) は港島クリーンセンターが 7 時 30 分から 16 時まで、荇藻島クリーンセンターが 8 時から 19 時まで、他 3 クリーンセンターが 8 時から 16 時までとなる。31 日 (土) は港島クリーンセンターが 7 時 30 分から 21 時まで、荇藻島クリーンセンターが 8 時から 21 時まで、他 3 クリーンセンターが 8 時から 16 時までとなる。また、1 月 3 日 (月) の港島クリーンセンターの受入時間については、7 時 30 分から 12 時までとさせていただきたいと考えている。参考までに、前回 (令和 3 年度) の搬入状況についても説明させていただく。搬入台数は、29 日、30 日、31 日の 3 日間合計で 876 台となっており、令和 2 年度 (839 台) より増加 (37 台) している。1 月 3 日の東クリーンセンターでの搬入台数は 106 台で、令和 2 年度 (95 台) からは増加となっている。
- (組合) 東クリーンセンターで受け入れていた年始の許可業者搬入について、昨年度から港島クリーンセンターで受け入れを行っているが、何かトラブルはあったか。
- (市) ただいまの質問について説明させていただく。従来から課題となっている三宮・元町周辺等の繁華街での早朝収集、カラス被害に対応するため、市内中央部に位置する港島クリーンセンターにおいては、搬入開始時刻を早める実証実験を令和 3 年度から実施している。1 月 3 日の許可業者搬入についても、同様の対応をとりたいと考えており、港島クリーンセンターで受け入れを行ったが、特に大きなトラブルはなかった。
- (組合) 布施畑環境センターにおいては、特別作業期間中、直営・私人の搬入台数が増加することが予測される。また、過去には特別作業期間中に火災が発生した事例もあることから、事故防止や火災に対する対策について説明をお願いしたい。
- (市) 私人の受入れについては 12 月 28 日 (水) までとし、29 日 (木) 以降の特別受付の実施は予定していない。また、事故防止対策及び火災対策については、常駐警備

や巡回警備の各請負業者に対して、より一層、安全対策を徹底するよう、指示する。なお、巡回警備については、平日は2回、施設が無人になる年始(1月1日～3日)は、日に5回巡回する。機械警備については常時(24時間)実施となっている。特に破碎選別施設は、過去に火災が発生しているので、特に注意したいと考えている。

- (組合) これまでの回答を受け、局の考え方を確認することができたため、年末年始特別作業提案については了承させていただく。しかし、収集・処理業務の現場実態は日々変化するため、計画を策定する際には、過去の事例だけでなく、現場の実情をよく把握した上で柔軟に対応していただき、年末年始特別作業に従事する職員に対しては、丁寧に説明していただくようお願いしたい。
- (市) 年末年始特別作業の実施にあたっては、職員の健康管理のほか、交通安全や作業事故防止の対策を行い、安全性の確保に十分配慮する。そのために、現場の実情をしっかりと把握し、作業計画について職員一人一人へ丁寧な説明が行えるよう、尽力する。引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくようお願いしたい。